

広報

なすからすやま

No.172

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 立地適正化計画	2
第4回市議会	6
市表彰式	8
聖火リレーを応援しよう！	10
第15回那須烏山マラソン大会	11
保育園・幼稚園で生活発表会	13
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム	15
まちのわだい	16
インフォメーション	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより	20

2020

1
January

七合保育園最後の発表会(12月7日 七合保育園)

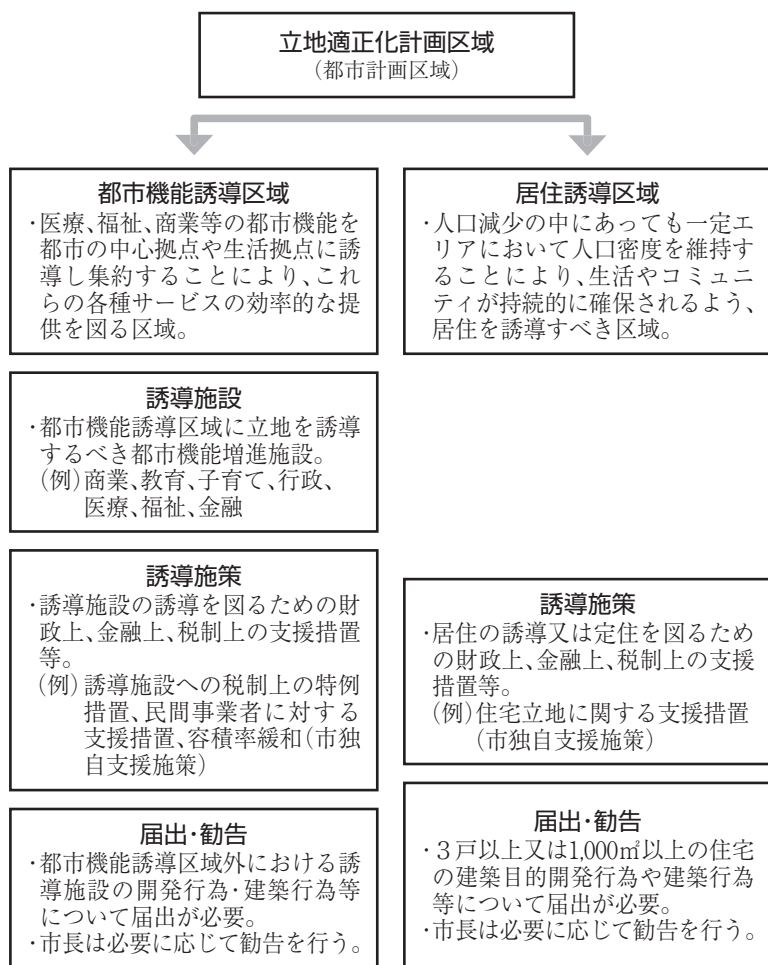


コンパクトなまちづくり 那須烏山市 立地適正化計画

本市は将来、急激な人口減少と少子高齢化が進展すると予想されています。また、市の財政状況は悪化し、行政サービスや市の活力が低下する恐れがあります。そのため、人口減少の中でも市街地の人口密度を維持し、誰もが生活しやすい都市を形成することが必要となります。そこで、市では、市全体の都市構造を見直し、住宅・医療・福祉施設、商業施設などの集約を図る「那須烏山市立地適正化計画」を策定しています。今月号では、計画の概要と市街地の将来都市構造などについて紹介します。



●計画に定める内容



市の人口推移

本市の人口は、平成7年頃まで、3万3500人程度の人口を維持してきましたが、5年ごとに1000人以上が減少し、平成27年には2万7047人となっています。また、今後20年間で現在の人口から26%程度減少すると見込まれ、県平均の12・4%を大きく上回ることが予想されています。

さらに、平成27年に21%を超えた高齢化率は、令和17年に40%を超えると見込まれ、老年人口の割合が全体の3分の1を超える見通しとなっています。

歩いて暮らせるまちづくり

老年人口の割合が高くなると、日常生活の移動手段を確保することが重要となります。そこで、住宅、医療、福祉施設や商業施設をまとめて立地・

誘導することで、まちの機能を集約し、高齢者をはじめとした市民が、過度に自家用車に頼らず公共交通機関で医療・福祉施設などにアクセスしやすいまちづくりが必要となります。日常生活に必要なサービスが身近にあるまちづくりが、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えであり、歩いて暮らせるまちづくりにつながっていきます。

都市構造を見直す基本計画

市では、機能的でコンパクトなまちづくりを進めるため、平成29年度から令和元年度までの3年間で「那須烏山市立地適正化計画」を策定しています。

この計画は、住宅、医療・福祉施設、商業施設、公共施設や公共交通など、生活を支える機能を一体的に見据え、市全体の都市構造を見直す内容となっています。計画では、医療・福祉施設、商業施設、公共施設などを誘導し集約することにより各種サービスの効率的な提供を図る「都市機能誘導区域」と、一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活やコミュニティが持続的に確保できるように、居住を誘導すべき「居住誘導区域」を設定します。

なお、この計画は、建物の建築など

を規制するものではなく、長期的な視点に立って緩やかな誘導を目指すものです。



まちづくりの目標

○計画の基本理念

・市全体の持続可能なまちの核となる市街地の形成

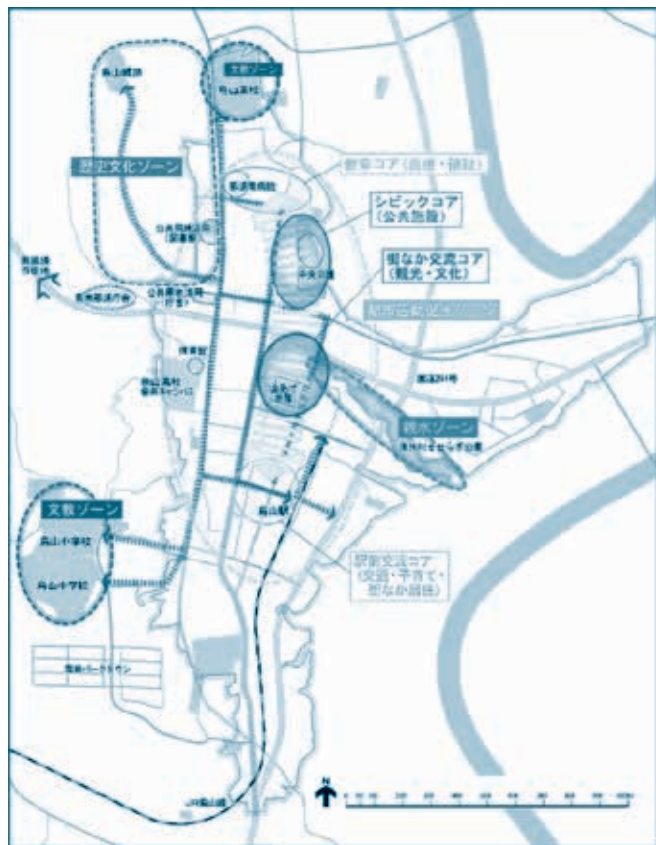
烏山市街地・南那須市街地を中心に都市機能(医療・福祉施設、商業施設、公共施設)を集約し、暮らしやすいコンパクトなまちづくりを目指します。

・コンパクトな市街地を中心に市全域を結ぶ都市構造の形成

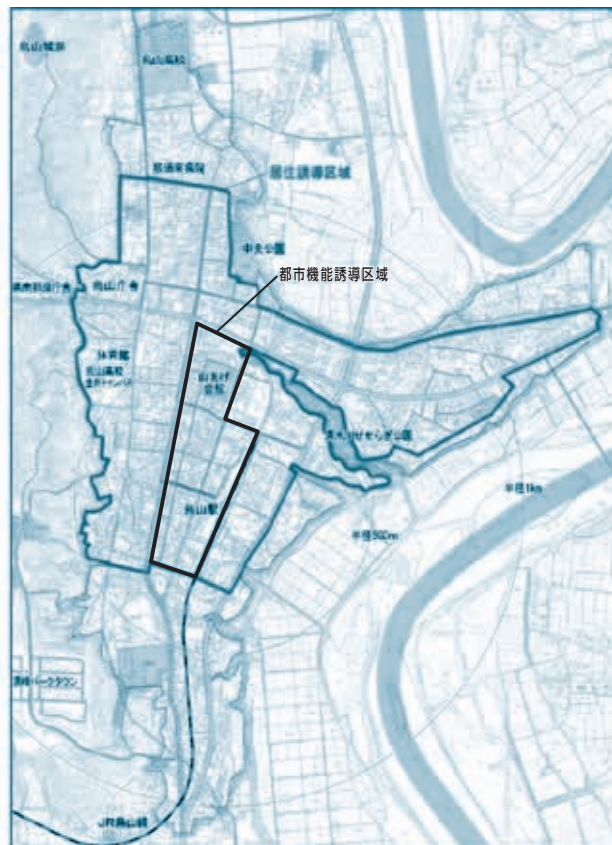
都市機能が充実した市街地を市全

図1 烏山市街地

将来像



誘導区域



烏山市街地と南那須市街地の
将来都市構造

○烏山市街地の将来像と誘導区域

烏山駅から歩いて利用できる範囲



体で利用しやすい環境づくりのため、交通ネットワークの維持・向上を目指します。

・都市機能立地・居住の基盤となる市街地の活力・魅力の向上

都市機能、居住を誘導できるだけの付加価値のある市街地形成のため活力・魅力の向上を目指します。

○計画の基本テーマ

「快適・活力・定住都市を目指して」
那須烏山の活力・魅力を次代になくコンパクトシティづくり」をテーマにまちづくりを進めていきます。

に都市機能や公共施設などの集約とそれらをネットワークする軸を位置付けます。

将来像に整合させた誘導区域を設定し、コンパクトで利便性の高い市街地を目指します。(図1)

※用途地域(都市計画法に基づき土地利用を定めて誘導するもので区域内では土地利用の規制がある。市内では烏山地区の一部にのみ定めている)内には都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定することができるとなっています。居住誘導区域は居住に適さないエリア(災害リスクが高いエリア、工業系用途地域などを除外して設定しています)。

○南那須市街地の将来像

大金駅を中心に、市域西部の生活を支える拠点の形成を図ります。

宇都宮方面との近接性を活かした住みやすい定住拠点としての機能向上を図ります。

大金駅を中心とした公共交通ネットワークの充実を図ります。(図2)

施設誘導の施策と効果

人口減少・少子高齢化社会にあっても市街地を維持することで持続可能なまちづくりを進めていくため、烏山市街地・南那須市街地で不足した施設を整理し、誘導します。

これまでも、まちなか活性化事業や幹線道路・公共交通網の維持など、烏山市街地・南那須市街地へアクセ

図2 南那須市街地

将来像



交通ネットワークの考え方

- 2つの拠点(烏山:都市活動拠点、南那須:都市生活拠点)と都市軸および鉄道による骨格構造を中心とするネットワークの形成。
- 2つの拠点、産業・交流などの各種拠点の道路ネットワークによる連携。
- 鉄道および都市軸などを通るバス路線による骨格となる公共交通ネットワークの確保。
- 市内の住居系開発地区・集落などにおける公共交通(デマンド)によるネットワークの確保。

スしやす交通手段の確保に努めてきました。

今後、人口減少・少子高齢化社会に対応するため、公共施設を維持・管理する計画と連携して、都市機能誘導区域内に公共施設などを適切に配置し、公共交通機関を利用して市街地外からでも利用しやすい施策などを検討していきます。

機能的でコンパクトなまちづくりに取り組むことで、道路や都市基盤の整備、維持管理・更新費用の縮減が見込まれます。また、医療・福祉施設などを集約することで、身近な場所

でサービスを受けられる体制が整い、いつでも在宅で安心な生活を送ることができます。

今後は、市都市計画審議会で審議、市議会に議決およびパブリックコメントを行い、市民の皆さんからいただいた意見を踏まえ計画を決定していくこととしています。皆さんの意見をお寄せください。

■問合 都市建設課 0287-887118

20世紀からの メッセージ 2020年元旦に「夢郵便」届く

21世紀の幕開けを盛大に祝おうと、2000年の年末から翌元旦にかけて催された「みなみなすカウントダウン・プロジェクト」。その一環で、20年後の自分に年賀状を送ろうとタイムカプセルに埋められた「夢郵便」の開封式が、12月7日(土)、南那須庁舎で行われました。

このプロジェクトは、100人以上の有志の協力で巨大ステージや催し物広場、花火が行われ、3000人以上の住民が、新世紀の到来を祝ったもの。その運営は、その後の「いかんべ祭」につながるもので

した。

開封式には、当時のボランティアメンバーなど約20人が参加。記念碑の下に埋められた特性カプセルのふたが開くと、参加者からは歓声が沸き起り、思い出の品々を懐かしみ昔話に花が咲きました。

「神野町長から100万円が町民を巻き込んだ盛大なイベントを持ち掛けられ、大変だったが充実した時間だった。今日は、みんなで思い出に浸りたい」と当時のプロジェクトリーダー・久保居光一郎さん。神野紘宇元南那須町長は「当時はミニ独

立国のいかんべ共和国と一体となったまちおこしイベントが盛況だった。これを機に保健福祉センター前の駐車場がイベント広場として定着した記念すべき行事で思い出深い」と話していました。

20年前の小・中学生も既に立派な大人。2020年元旦に届けられた夢郵便は、125人の人々に驚きと懐かしさを与えたことでしょう。また、一緒に保存されていたポスター、写真、広報紙や当時の新聞などは、1月15日(木)から30日(木)まで南那須庁舎ロビーに展示します。



開封式に参加した当時プロジェクトメンバーなど



台風19号災害に対応し本年度予算を補正

一般会計総額は122億8409万6千円に

令和元年第4回市議会12月定例会が11月29日(金)から12月9日(月)まで11日間の日程で開かれ、令和元年度補正予算や条例の制定など17議案が原案どおり可決されました。

詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-88-7114 までお問い合わせください。

専決処分の承認

台風19号の被害により緊急性の高い災害救助費などについて専決処分した補正予算2件が承認されました。

一般会計予算を補正

一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ2億2446万1千円増額し、補正後の予算総額を115億5576万6千円としました。

歳出の主な内容は、災害救助事業費7963万円、感染症予防事業費12万1千円、災害廃棄物などの塵芥収集処理費3899万5千円、甚大な被害を受けたレインボーハウスの対応のため適応指導教室費92万6千円、農地・農業用施設災害復旧事業費4010万円、公共土木災害復旧事業費6300万円、南那須公民館や大桶運動公園管理棟などの社会教育施設災害復旧事業費162万3千円などです。



堤防の決壊などにより
多くの田畑が水没

歳入は、国の土木施設災害復旧事業費負担金、災害等廃棄物処理事業費補助金および県の災害救助費繰替支弁金負担金、感染症予防事業費等補助金のほか、前年度繰越金・市債を充当しました。

補正予算

一般会計

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ7億2833万円増額し、補正後の予算総額を122億8409万6千円としました。

歳出の主な内容は、台風19号被害に対応して、災害見舞金給付費350万円、災害廃棄物などの塵芥収集処理費409万4千円、被災者の住宅修理支援金などの災害復旧事業費1450万円、農地・農業用施設災害復旧事業費5億3640万円、河川復旧のための公共土木災害復旧事業費500万円、南那須公民館および鳥山野球場の復旧費用として社会教育施設災害復旧事業費608万7千円などです。そのほかには、防犯灯LED化

のため防犯施設維持管理費120万円、看護小規模多機能型居宅介護事業所整備補助金3510万5千円、私立保育施設運営委託事業費1439万8千円、こども医療助成費1035万4千円、20歳ピロリ菌検査のための感染症予防事業費40万7千円、地籍調査事業費350万円、除雪対策や道路補修などの道路維持管理費1600万円、東京オリンピック・パラリンピック事業費650万円などです。人件費は、人事院勧告や人事異動などに伴い減額しました。

歳入は、農地・農業用施設災害復旧事業費分担金5000万円のほか、国の農地・農業用施設災害復旧事業費補助金4億5000万円、災害等廃棄物処理事業費補助金2039万9千円、県の地域医療介護総合確保基金事業費交付金3510万5千円などです。また、市債として農地・農業用施設補助災害復旧事業費2700万円、公共土木施設単独災

水道事業会計予算を補正

水道事業会計は、水道施設の応急復旧修繕費として収益的支出を2152万8千円増額し、補正後の予算総額を5億6

害復旧事業債500万円、社会教育施設単独災害復旧事業債500万円などを計上しました。不足財源は、普通交付税および前年度繰越金を充当しました。

なお、来年度から新たな契約が生じる自家用有償バス運行業務委託および鳥山小学校スクールバス運行業務委託の債務負担行為を追加補正しました。



旧境小学校に集められた災害ごみの一部

○特別会計

国民健康保険の事業勘定は人事院勧告および人事異動に伴い歳入・歳出をそれぞれ556万円増額し、補正後の予算総額を34億4874万4千円としました。

介護保険は、高齢者福祉計画などのニーズ調査経費のほか、保険給付費の増加を見込んで、歳入・歳出をそれぞれ908万7千円増額し、補正後の予算総額を27億8026万1千円としました。

農業集落排水事業は、人事院勧告および人事異動などに伴い歳入・歳出をそれぞれ14万3千円増額し、補正後の予算総

額を6187万4千円としました。

下水道事業は、田野倉地内管渠築造工事請負費や人事院勧告・人事異動に伴い歳入・歳出をそれぞれ472万6千円増額し、補正後の予算総額を3億4757万2千円としました。

水道事業会計は、台風19号被災時の応援給水費用および人事院勧告・人事異動に伴い収益的支出を817万6千円増額し、補正後の予算総額を5億6884万9千円としました。

条例の制定と一部改正

・「地方公共団体の一般職の任期付職員」の採用に関する法律」に基づき、専門的な知識を要する業務などに複数年に渡り従事する「任期付職員」を採用できるようにするため「一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例」を制定しました。

・「地方公務員法」の一部改正に伴い、臨時任用職員の給与の取り扱いを定めるため「臨時的任用職員給与条例」を制定しました。

・任期付職員制度の導入および臨時的任用制度の整備、会計年度任用職員制度の導入などに伴い、「職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例」等を一括して改正しました。

・マイナンバーを利用することができ、市の事務に地域生活支援事業に関する事務を追加するため「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等

に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例」を一部改正しました。

・人事院勧告に基づく特別職の国家公務員の俸給や特別給の引き上げに準じて市長、副市長および教育長の期末手当を引き上げるため「市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例」を一部改正しました。本改正により、市議会議員の期末手当も同様に引き上げられます。

・人事院勧告に基づく国家公務員の俸給、住居手当および勤勉手当の引き上げに伴い、市職員の給料などを引き上げるため「市職員給与条例」等を一部改正しました。消費税率および地方消費税率の引き上げに伴い、B&G海洋センターの施設使用料を改定すると共に、回数券および月額会員券を導入するため「B&G海洋セ

ンター設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

議決事項

・栃木県市町村総合事務組合に小山市および小山広域保健衛生組合が加入するため「栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び栃木県市町村総合事務組合規約」の変更を議決しました。

・公用車両事故の損害賠償の額を決定し、和解することを議決しました。

◇
なお、「手数料等の適正化に伴う関係条例の整備について」、「自家用有償バス設置、管理及び使用料条例の一部改正について」は、否決されました。

那須烏山市教育委員会会報

元年度「第2四半期」7月～9月

第6回教育委員会(7月26日)

○準要保護児童生徒の認定を承認

○那須烏山市図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正を決定

○令和2年度使用小学校用及び中学校用並びに小中学校特別支援学級用教科用図書を採択

第7回教育委員会(8月16日)

○区域外就学の許可を承認

○令和元年度那須烏山市一般会計(教育関係)補正予算第2号を決定

第8回教育委員会(9月27日)

○区域外就学の許可を承認

○那須烏山市立幼稚園管理規則の一部改正を決定

○那須烏山市立小中学校管理規則の一部改正を決定

▼その他の出席

・8月26日(月)：広島平和記念式典派遣事業報告会出席

・9月21日(土)：荒川小秋季運動会出席
・9月28日(土)：つくし幼稚園運動会出席

市の発展の功労者や各分野の尽力者等を表彰

那須烏山市表彰式

市では、11月30日(土)、市政の発展や様々な分野で活躍する人・団体を表彰する「市表彰式」を烏山公民館で開催しました。

式典では、特別功労表彰、市政功労表彰、スポーツ大賞、まちづくり貢献賞および4世代以上同居家族に表彰状が、また、貴重な資料の寄贈者に感謝状が、川俣純子市長から授与されました。式典では、受賞者を代表し、関澤正二さんが謝辞を述べ

べました。そのほか、台風19号による被災支援に対する感謝状贈呈も行われました。

受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略、()内は功績)

特別功労表彰

関澤正二(多年にわたる消防団活動および市消防団本部部長)

市政功労表彰

大野信行(正副行政区長)、瀧田道明(正副行政区長、和久誠志(正副行政区長)、大森勝(正副行政区長、小室信行(正副行政区長、鈴木叶(保護司、各和昭(烏山土地改良区理事、大窪金夫(烏山土地改良区理事)

感謝状

土屋照彦(烏山に関する歴史資料(藩札1点の寄贈)、関忠夫(烏山に関する歴史資料(関家文書904点の寄贈))



台風19号被災で人命救助に貢献した3人に感謝状が手渡された



関澤正二さんによる受賞者代表謝辞

史資料(関家文書904点の寄贈)

スポーツ大賞

中山日菜子(全日本大学選抜チーム選出/第7回アジアカップ優勝ほか)

まちづくり貢献賞

烏山自警団(防犯活動、代表大和勝夫、烏山商店会南栄会(地域活性化活動、代表高橋誠二)、栃木県立シルバー大学校同窓会那須烏山支部(環境美化活動、支部長高野勲)

まちづくり貢献賞(4世代同居家族表彰)

福田真雄ご家族、齋藤秀夫ご家族、大嶋道雄ご家族、樋山洋ご家族

台風19号被災支援感謝状

北関東総合警備保障(株)(給水車の無償提供)、社会福祉法人明和会(入浴施設の無償提供、被災者の保護)、風月カントリー倶楽部(入浴施設の無償提供)、滝田産業(株)(無償による災害ごみ回収・搬出)、高沼一夫(人命救助、大輪浩之(人命救助、鈴木幸一(人命救助))



最優秀賞となった平野祐太郎さんの作品「右手取ったぞ〜」

72人が腕を競う山あげ祭フォトコンテスト

令和元年度「山あげ祭フォトコンテスト」の結果が発表され、応募作品179点の中から、平野祐太郎さん(向田)の作品「右手取ったぞ〜」が最優秀賞に選ばれました。

そのほか特選2点、準特選3点、サトーカメラ賞2点、特別賞18点が選ばれ、これらの作品は3月末日まで、山あげ会館2階展示室に

て展示されています。今後、受賞作品は、本市のPRなどに活用されます。

上位入賞者は次のとおりです。

(最優秀賞除く、敬称略)

◇特選：橋本梨沙(埼玉県春日部市)、渡邊悠輝(高根沢町)

◇準特選：江川清(宇都宮市)、福田芳子(宇都宮市)、加藤明彦(宇都宮市)

女性に対する暴力をなくすパープルリボン運動

11月12日(火)から25日(月)までの「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせ、女性への暴力根絶のシンボルである「パープルリボン」と児童虐待防止の「オレンジリボン」の啓発コーナーを南那須・

烏山両図書館に設置しました。

16日(土)には、南那須図書館来館者にむけ、市のイメージキャラクター「やまどん」が啓発グッズを手渡ししたり、女性への暴力根絶を願って来館者がツリーにパープル

シリーズ

市の文化財

第104回



市指定史跡
耕便門の碑(旭)

文政9年(1826)、新田開発に必要な水を引くための隧道(トンネル)が完成したことを記念して建てられた碑です。この隧道は、烏山城主大久保忠成の命により1年3か月の短期間で完成したといわれ、約40ヘクタールに及ぶ水田の開墾に利用されました。当時は数軒の水車屋も開業し、藩財政を少なからず潤すこととなりました。

耕便門と名付けられた隧道の出口近くに建てられた碑文と書は、当時、諸侯三筆のひとりといわれた大久保忠成によるもので、水田の開墾に城主自らがかわっていたことを現代に伝える貴重な史跡です。

信号待ちのドライバーに交通事故防止を呼び掛ける川俣純子市長と吉村警察署長



年末の交通安全県民総ぐるみ運動 街頭指導で事故防止を呼びかけ

交通事故が多発する年末に、市民一人ひとりの交通安全意識の向上と、交通事故防止の徹底を図ろうと「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」が、12月11日(水)から31日(水)にかけて行われました。

本市でも、期間中に早朝街頭指導を行うなど、ドライバーや登校中の児童・生徒に交通事故防止を呼びかけました。

運動では、「マナーアップ!あなたが主役です」をスローガンに、

飲酒運転の根絶や夕暮れが早いことから「ライト4(フォー)運動」(午後4時からの前照灯点灯)の推進活動が行われました。

11日には旭交差点で、市、那須烏山警察署、交通安全協会の会員など約30人が「特別街頭指導」を行い、啓発チラシや同協会女性部会が手作りしたお守りなど約300個を信号待ちのドライバーに手渡しました。

国際交流クリスマス会 9カ国88人が異文化交流

市国際交流協会(東原民範会長)の「第14回国際交流クリスマス会」が、12月11日(水)、風月カントリークラブで開かれ、日本を含む9カ国から88人が参加しました。

当日は、ステージで「フラレア」によるフラダンスやALT(外国語指導助手)によるクリスマスソングの演奏、矢崎部品(株)栃木工場によるインドネシアの民族舞踊のアトラクションが披露されました。

また、参加者は、ビンゴゲームをしたり、クリスマスソングをみんなで歌ったりと、異文化交流を楽しみました。



ツリーにパープルリボンを飾り付ける来館者

リボンを飾り付けたりして啓発運動を行いました。

DVは、身体的なケガだけではなく、うつ病などの様々な病気になる恐れがあり、生活に支障をきたすことも少なくありません。悩んでいた一人を抱え込まず関係機関に、ためらわずに相談しましょう。

■問合 とちぎ男女共同参画センターDV相談専用 ☎028-665-8720 / 警察相談専用 ☎9110 / こども課 ☎0287-88-7116



フラレアによるフラダンスのステージ

聖火リレーをみんなで応援しよう！

1498人が健脚競う

第15回那須烏山マラソン大会

12月1日(日)、「第15回那須烏山マラソン大会」が保健福祉センターを発着点に開かれ、全国から1498人のランナーが初冬の那須烏山路を走り抜けました。当日は、ウォーキング、ハーフマラソン、5キロ、3キロ、2キロ、親子マラソンが順次スタート。同時に、那須烏山ふるさと太鼓保存会が威勢のいい演奏でランナーを送り出しました。

会場では、恒例となった食生活改善推進団体連絡協議会の皆さんから「豚汁」が振る舞われ、力走した選手の疲れを癒しました。



①号砲を合図に選手が保健福祉センターをスタート ②地域住民の協力により設置された給水所 ③ランナーが那須烏山路を駆け抜ける ④大金つり橋を渡るランナー ⑤入賞しました！ ⑥親子で手をつないでゴール ⑦各部門上位6人に表彰状が贈られた表彰式

部門別上位入賞者

2キロコース

【小学4・5・6年生男子】①梅原俊太(小山市タイ②渡部智義(埼玉県)③横山来夢(茨城県) **【小学4・5・6年生女子】**①佐藤舞歩(福島県)新②木戸望乃実(福島県)新③福田姬愛(小埴)
【親子(幼児・小学2年生)】①高松洋輔 結菜(真岡市)②深井聡・聡寿(矢板市)③戸井田淳史 泰至(高根沢町) **【親子(小学3・4年生)】**①山田尚人 舜人(宇都宮市)②石下知也・遵成(宇都宮市)③塩野目将治・晟煌(下境)

■3キロコース

【中学生女子】①宮下麗美(芳賀町)②木戸愛花(福島県)③吉葉咲良(八ヶ代) **【一般女子】**①川俣日奈子(野上)新②津田彩香(鴻巣市)③河合奈美(茨城県) **【男子全般】**①各和芳幸(上境)②山野山(③) 家翔(矢板市)③宮下瞬(芳賀町)

■5キロコース

【中学生男子】①河原蒼 上境 新②安江悠登(埼玉県)③武村佳祐(鹿沼市) ④一般男子39歳以下①根本進(福島県)②稲見隆典(上三川町)③中澤拓也(宇都宮市) ④一般男子40歳以上①猪野卓也(福岡)②松井章(東京都)③福田真樹(日光市) ④一般女子39歳以下①木戸美帆(福島県)②石崎未久(茨城県)③白石絵美(茨城県) ④一般女子40歳以上①仲江川久美子(栃木市)②小針佳子(宇都宮市)③安藤富美子(大田原市)

■ ハーフマラソン

①一般女子高校生以上 ①龜井ひさえ(宇都宮市) ②野田真弓(宇都宮市) ③高野彩子(滝) ②一般男子高校生 ③39歳以下 ①佐藤直樹(福島県) ②丸山航輝 那須町 ③奥野直倅(宇都宮市) ②一般男子40〜49歳以下 ①藤原仁(小山市) ②黒須直樹(宇都宮市) ③大久保幸夫(埼玉県) ②一般男子50〜59歳以下 ①佐竹康博(東京都) ②中島栄(群馬県) ③高久康裕(宇都宮市) ②一般男子60歳以上 ②①東瓜完治(那須塩原市) ②後藤文彦(茨城県) ③渡邊良勝(宇都宮市)

■ウォーキング…タイム計測なし

※敬称略、「新」は大会新記録、「タイ」は大会タイ記録

JR烏山線利用向上 市民号で親睦深める

JR烏山線の利用向上や市民同士の交流を図ろうと、「第12回 那須烏山市民号」が2泊3日の2コースで開催されました。

11月14日(木)から16日(土)までの「絶景紀伊半島一周と世界遺産熊野三山詣り3日間」の旅には21人が参加。11月17日(日)から19日(火)までの「女神の世界遺産宗像大社と紅葉の萩・津和野の旅」には、41人が参加し、世界遺産の観光名所巡りを楽しみながら交流を深めました。

両コースとも、JR烏山線を利用し市民同士の親睦を図るとともに、現地で本市のパンフレットや

山あげ祭のうちわなどを配布して市のPR活動を行いました。



上から、和歌山県で世界遺産那智の滝を見学したコースの参加者／山口県の日本三名塔瑠璃光寺五重塔前で



第8回介護予防大会・地域住民公開講座 介護落語で家族介護の現状学ぼう

12月8日(日)、市と南那須医師会による「第8回介護予防大会・地域住民公開講座」が烏山公民館で開かれ、市民など約124人が参加しました。

これは、介護が始まる人、介護中の人、介護が終わった人のため、誰にとっても他人事ではない「家族の介護」にどのように向き合うべきかを地域全体で一緒に考えよう

と開かれたものです。

当日は、落語家の吉原朝馬師匠により、介護経験者の実体験から生まれた介護落語「かあちゃん我倒れた!」が披露され、参加者は家族介護の現状やどのように向き合っていくかを考えました。その後、古典落語「六尺棒」が披露され、吉原さんの噺(はし)に会場は笑いに包まれました。

台風19号災害復興支援 龍JINが募金活動

那須烏山市災害ボランティアチーム龍JIN(小堀恵美子代表)では、台風19号の復興を支援しようと、12月1日(日)、市内のスーパーで募金活動を行いました。

活動には、龍JINのメンバーのほか、烏山高生、ガールスカウト栃木県第14団、市社会福祉協議会など23人が参加。買い物に訪れた客に呼びかけ2時間半で12万1741円の募金を集めました。

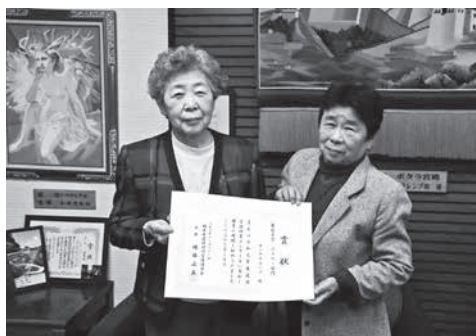
募金は、義援金として市に寄附され復興活動に活かされます。



募金活動をする高校生

県道路愛護作業コンクール カンナグループが最優秀賞

県道路愛護作業コンクールのフラワー部門で、カンナグループ(西原和子代表)が最優秀賞を受賞しま



フラワー部門で最優秀賞を受賞したカンナグループ

した。このコンクールは、県道路河川愛護連合会が、道路、河川愛護意識の普及・啓発活動の一環として毎年開催しているものです。

市内の女性15人ほどで組織する同グループは、まちおこしの一環として主要地方道路宇都宮・那須烏山線などの歩道の花木の植栽・管理を14年間にわたって続けてきたことが認められました。

西原代表は、「年に4回ほど集まり、毎回楽しく活動をしてきたのに、最優秀賞受賞を聞いてとても驚いている。今後も、綺麗な花を楽しんでもらえるよう続けたい」と話していました。

幼稚園・保育園で生活発表会

園児が劇や歌を披露

12月に入り、市内の幼稚園・保育園で、生活発表会が相次いで開かれ、大勢の保護者や地域住民が見守る中、園児たちが劇や歌、ダンスなど練習の成果を発揮しました。今月号では、いくつかの園の様子を写真で紹介し



①②七合保育園、③④にっこ保育園、⑤⑥すすき保育園、⑦⑧みどり幼稚園

シリーズ 公民館講座に行こう！

実施講座レポート⑧

今回は、「人気料理講座」について紹介します。

講座ではどんなことをしたの？

第1回は、鈴木初男さんを講師に、パンを作りました。比較的短時間で作れるキッシュとポンドケーキを焼くと、調理室内は美味しい香りに包まれ、でき上がりに皆さん満足していました。

第2回は、小鮎千文さんを講師に、お弁当を作りました。薬膳料理に詳しい小鮎さんならではの料理で、美味しいだけでなく、身体に優しいお弁当を作ることができました。



第2回で作ったお弁当

第3回は、小山市にある森永製菓(株)の工場で、普段見ることができない食品の製造工程を見学しました。

第4回は、食生活改善推進員を講師に、おせち料理を作りました。定番の伊達巻から豪華な海老を使った料理など、お正月を迎える準備が楽しくなるメニューばかりでした。



第4回で作ったおせち料理

今回の講座で、参加者から「家庭でも挑戦してみます!」といった声が多くあり、「自分も楽しむ料理」を学ぶことができました。

■問合 烏山公民館

☎0287-83-1412

平山大輝さん

eスポーツでプロ活動

ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える「eスポーツ」で上境の平山大輝さんが福岡ソフトバンクホークスに入団し、プロとして活躍しています。

平山さんは、作新学院大学に通いながら、実況パワフルプロ野球で「ひらD」というプレイヤーネームで活動しており、実績と技術を兼ね備えたバットコントロールが自慢です。9月16日(月祝)に東京都内で開かれた「eBASEBALL プロリーグ」の「eドラフト

会議」でプロ指名を受け入団したものです。

昨年の5月19日(日)に東京都で開催された「eスポーツMAX GAMING FESTIVAL 2019 Spring」や、7月27日(土)に茨

城県で開催された「いばらきのど真ん中eスポーツ選手権」で優勝するなど、様々な大会で実績を残しています。

平山さんは、「好きなことに限界



大学とeスポーツを両立し活躍する平山さん

まで取り組んでどこまで通用するか知りたいと思いプロを目指した。努力することがとても楽しく、今後はチームが日本一になれるよう頑張っていきたい」と意気込みを語りました。



クリスマスランチ作りを楽しむ参加者

キッズクッキングで子どもたちがクリスマスランチ作りに挑戦

12月14日(土)、保健福祉センターで「キッズクッキング」が開かれ、40人の親子連れらが、本格的なクリスマスランチ作りに挑戦しました。

これは、親子や祖父母と孫などの3世代で「栄養バランス」や「減塩」などの健康面に配慮したメニューを協力して作ろうと市が開いたもので、募集後すぐに定員を超えるほどの人気。当日は、「カップ寿司」や「栄養満点カラフルピザ

トースト」「かみかみヨーグルト」など、色鮮やかでクリスマスらしい5品の料理を協力して楽しみながら作りました。

親子で参加した下境の菊地由佳さんと境小2年の菜々子さんは、「料理のお手伝いが大好きなので一緒に料理を作りたいと思い参加した。とても楽しかったので、機会があったら、また参加したい」と話していました。

アキュム絵画コンテスト 荒井さんが最優秀賞

鳥山線桜並木鉄道実行委員会小堀恵美子代表による「鳥山線アキュム絵画コンテスト」が今年も行われ、12月10日(火)には表彰式が、市役所南那須庁舎で開かれました。

コンテストは、JR鳥山線走る「アキュム」を広く周知し、市の発展や未来を担う子どもたちに郷土愛を育んでもらおうと開かれているもので、今年で6回目。市内5つの小学校や南那須特別支援学校から520点の応募があり、上位入賞者24人に表彰状が手渡されました。

最優秀賞を受賞した、鳥山小2年の荒井智晴さん天沢は、「市のことをよく調べてアキュムや山あげ祭、龍門の滝などを丁寧に描いた。山あげ祭が好きで、毎年見に行っているのので、アキュムと一緒に描きたいと思った」と話していました。



最優秀賞の荒井さん(中央)と市長賞の大鐘菜理奈さん(左)、教育長賞の山崎菜々子さん(右)

入賞、佳作作品72点は今後、アキュム車内などに掲示される予定です。

在宅医療のあれこれ Part21

通所介護(デイサービス)とは

高齢になり、社会との関わりが薄くなるにつれて刺激の少ない生活を送ることは、認知症を引き起こす要因のひとつにもなります。また、自宅へ閉じこもることが多くなると筋力の低下にもつながります。こうしたことを予防するため、少しでも外へ出かけて人とふれあい、身体を動かすことは大切なことです。

利用者が外出し、デイサービスで新たな楽しみを見つけ笑顔で過ごすことは、家族・介護者にとっても自分の時間を過ごすことでリフレッシュでき、介護を長続きさせることにつながります。

料金

介護度により自己負担があります。その他食事代あり。

対象者

要介護認定で要介護または要支援状態にある人が利用できます。

一日の流れ(例)

午前9時30分 自宅から送迎車に乗りデイサービスへ

午前10時 健康チェック

入浴(希望者)

午前11時 個別レクリエーション(折り紙や工作など)

正午 昼食

午後1時30分 集団レクリエーション

(体操を兼ねたゲームなど)

午後3時 おやつ

午後4時 自宅へ送迎車で帰る

デイサービスの内容

食事や入浴、排せつなどの必要な日常生活上の世話や機能訓練を行います。また、利用者が楽しく通えるように、レクリエーション、リズム体操、趣味活動(書道、生け花、折り紙、カラオケなど)など様々なプログラムが用意されています。

おしゃべりや季節に応じた行事、ドライブなどを楽しむこともできます。



デイサービスは外出したり、人と触れ合ったりすることができるため、閉じこもりや孤立を防ぐことにつながります。

まずは、地域包括支援センターみなみなす(☎0287-83-8760)、からすやま(☎0287-82-7272)へ気軽にご相談ください。



消費者ほっと♥らいふナビ

「催眠商法」にお気をつけください！

あけましておめでとうございます。本年も「消費者ほっと♥らいふナビ」をよろしくお願いします。

さて今回は、高齢者が狙われやすい「催眠商法」について紹介します。

具体例としては、仮設店舗やイベント会場などで商品説明会や安売りセールを名目に人を集め、初めのうちは欲しい人に手をあげさせ、日用品や食料品をタダ同然で配り「もらわないと損だ」という気持ちにさせます。このようにして会場の雰囲気を盛りあげ、一種の催眠状態を作り出し、高額な商品(市価より高額)を買わせようとする商法です。

この商法は、消費者が雰囲気や酔った状態で商品を購入することになります。そのため、購入した後に品質や価格について販売業者とのトラブルになりやすく、返品したいとなっても、臨時の会場での購入となるため、販売業者の所在がわからず、返品ができないという問題が起こる場合もあります。

もし、そういったトラブルに巻き込まれたときはすぐ

に最寄りの消費生活センターに相談しましょう。また、巻き込まれないためにも下記のことに注意しましょう！

- ①無料配布などを目的に安易に会場に近づかないようにしましょう。
- ②商品を無料でもらったからといって何か買わなければいけないということはありません！雰囲気に惑わされないようにしましょう。
- ③契約書面を受け取ってから8日以内はクーリング・オフにより、無条件で解約できます。
- ④クーリング・オフ期間が過ぎたとしても、消費者契約法による取り消しを業者に主張できる場合があることを覚えておきましょう。([「帰りたい」と言ったのに帰らせてもらえなかった場合や脅迫、困惑行為があった場合など])



那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00~12:00、13:00~16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

華花の会

小原流・小さな花展

12月6日(金)、華花の会の10回目となる「小原流・小さな花展」が南那須公民館で開催されました。

同会は、5人の会員が月に2回、生け花やオカリナ、お茶会などの活動が続け、今年で12年目を迎えます。同花展には、会員により生けられた生け花30点あまりが展示され、市内外から訪れた135人の目を楽しませました。

また、当日は会員4人が「み

かんの花咲く丘」や「北国の春」、「川の流れるように」など10曲をオカリナで演奏し、会場に美しいメロディーを響かせました。

同会の鈴木光子代表は、「こんなに長く続けられると思わなかった。メンバー全員が花を育てたり、生けたりすることが好きで、花から元気をもらっている。今後も、思い思いの作品を作って楽しく活動したい」と話していました。



生け花を鑑賞する来場者

クロスアクション×宇都宮大学×烏山高校 山あげ会館に交流スペース

12月2日(明)から3週間にわたり、山あげ会館に市民の交流スペース「山あげコモンズ」が開設されました。

これは、NPO法人クロスアクション(高橋誠「代表理事」)が受け入れる、宇都宮大学地域デザイン科学部の授業「地域プロジェクト演習」の一環。同大学生の発案に、烏山高校も連携して実現したものです。演習では、市内の遊休施設の有効活用とにぎわい創出をテーマに活動。山あげ会館の売店跡を活用し、期間限定で試験的な

開設に至りました。交流スペースには、大小10組の机や椅子が配置され、高校生の自主学習や市民の休憩、持ち込みのランチなどに活用されました。同大3年の千葉菜央さんは「継続的に活用され、地域の交流の場になれば」と話していました。

山あげ会館を管理する観光協会は、活用が盛況だったことから交流スペースを継続することにしました。開設は火曜を除く午前9時から午後5時までです。



にぎわい創出をテーマに山あげ会館に設置された「山あげコモンズ」

八板さん、森林さん、石塚さん 満100歳おめでとうございます

八板忠市さん(上川井)が11月20日(木)に、森林ハナさん(志鳥)が25日(月)に、石塚キクエさん(興野)が27日(水)に、満100歳の誕生日を迎えました。27日には、川俣純子市長が3人を訪問し、祝詞と花束などを手渡しして長寿を祝いました。

八板さんは、99歳まで書道をやっていたそうですが、最近では運動が日課で、押し車で近所を歩いているそうです。長寿の秘訣を聞くと、「母も105歳まで生き、8人の兄弟も長生きしているの、遺伝だと思う。あとは、



森林さん

毎日、畑や田んぼに出ているという石塚さんは、サツマイモ

ンや体操などをしたり、カラオケを聞いたりして元気に過ごしています。やはり、「好き嫌いをせず、たくさん食べる」ことが長寿の秘訣のようです。

チャリティーショーで 復旧・復興を支援

12月1日(日)、鳥山公民館を会場に、那須烏山地区民俗文化奉仕協会(川俣伸会長)恒例の「歳末たすけあいチャリティーショー」が開かれました。

高齢者や勤労者の慰安のために毎年行われているこのイベント。当日は、多くの出演者が歌や舞踊を披露し、来場者を楽しませていました。

42回目を迎える今回は、台風19号による被災者支援に役立てばと、収益金は、市社会福祉協議会に寄附し、福祉活動や災害復旧支援などに活用されることになりました。



ステージで舞踊を披露

お救い小屋で炊き出し体験

12月7日(土)、那須烏山報徳会では、天性寺参道脇の円応公園(お救い小屋跡)で、「炊き出し体験の集い」を行いました。

これは、本市周辺で飢饉が起こった際に、二宮金次郎の指導(報徳仕込)により、食事を提供することで多くの領民が救済されたことを追想し、毎年行われているものです。

当日は、地域住民など約50人が参加。かまどで炊いたおかゆなどを会食したほか、お救い小屋で炊き出しが行われた逸話の紹介、烏山語りの会による民話が披露されました。



炊き出しを体験する地域住民

同会の大金正会長は「二宮金次郎の教えを忘れず後世に伝えるため、今後も活動を続けたい」と話していました。

横枕でお笑い婚カツ

12月7日(土)、横枕青年団(生魚貴宏団長)と市結婚相談所による「お笑い婚カツ&たこ焼きパーティー」が横枕文化伝承センターを会場に開かれました。

当日は、市内外から男女20人が参加。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑い芸人「ヨッシャ比留間」、「犬塚大冒険」や「永井壘」さんが盛り上げ役として登場し、「ジェスチャー合わせましようゲーム」や「イントロクイズ」で会場を盛り上げました。

その後、和やかな雰囲気の中でたこ焼きパーティーが行われました。

イントロクイズで盛り上がる会場



地域に親しまれて百年

防火の神様として志鳥地域で親しまれている愛宕神社が遷座して100年を祝う行事が、11月24日(日)、有志(高尾勇一代表)によって同神社で開かれ、地域住民など約60人が参加しました。

これは、大正8年に八幡宮を合祀してから節目の年を迎えることから開かれたもので、当日は、記念行事に続いて「がらまき」などが行われ、鎮守の森に歓声が響き渡りました。



記念行事に続いてにぎやかに繰り広げられた「がらまき」

何でもよく食べることに話していました。



八坂さん

森林さんは、70歳くらいから1人暮らしで、俳句を楽しみにしていたそうです。最近では、介護施設で友達とレクリエーション

とお饅頭が好物。現在は、市内の介護施設でお友達と毎日楽しく過ごしています。「何事も大変だと思わず、満足だと思いきることが一番」と満足げに話していました。



石塚さん

おめでた★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
川村 翔(純・梨沙) 高瀬
平山 千華(孝洋・妙子) 小埜
北川 理稀(祐太・智津子) 上埜
小野寺 歩希(秀和・由香里) 熊田
永塚 瑞琉(学・有希枝) 上埜
※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第14回市民剣道祭(11月16日(土)、那須烏山市武道館)
【初心者部】▽優勝：葛西小春(宏倫剣道)▽準優勝：河和歩武(宏倫剣道)【小学3・4年生部】▽優勝：土居明夫(宏倫剣道)▽準優勝：二藤部權理(烏山剣道)▽第3位：新井琢仁(烏山剣道)、河和汰来(宏倫剣道)【小学5・6年生部】▽優勝：小森咲芽(烏山剣道)▽準優勝：渡邊錬(宏倫剣道)▽第3位：小西勇太(宏倫剣道)、滝口桃子(宏倫剣道)【中学生男子部】▽優勝：沖村愛希(南那須中)▽準優勝：高野悟(烏山中)▽第3位：岸祐行(烏山中)【中学生女子部】▽優勝：菊池優奈(南那須中)▽準優勝：松村美優(烏山中)
●第7回市民ソフトボールフェスティバル大会(11月16日(土)、緑地運動公園)
▽優勝：藤田▽準優勝：神長▽第3位：志鳥・川井
●第35回栃木県スポーツ少年団柔道

交流大会(11月17日(日)、栃木県武道館)

【小学生軽量の部】▽優勝：古口哲平(南那須柔道)【小学生重量の部】▽優勝：木島弥麻人(南那須柔道)

●第42回栃木県スポーツ少年団交流大会(11月24日(日)、栃木県体育館)
【小学6年生男子(個人)の部】▽第3位：小西勇太(宏倫剣道)

●第53回流山市秋季空手道大会(11月17日(日)、流山市キックマンアリーナ)
【小学5年生組手の部】▽第3位：五十嵐大夢(南那須空手道)

ご寄附ありがとうございます★

■ふるさと応援寄附金

岩佐幸恵様(千葉県船橋市)から5万円、岡崎和也様(高根沢町)から1万円、匿名希望者様20人から計39万円5千円が本市に寄附されました。

■市奨学基金寄附金

秋山久様(東京都小平市)から2万円が寄附されました。

高齢者や地域住民の憩いの場 老人憩いの家やすらぎ荘を解体

昭和48年のオープン以来、高齢者カラオケ愛好会や地元自治会の集いなど、地域の憩いの場として活用されてきた「老人憩いの家やすらぎ荘」が施設の老朽化に伴い、昨年9月に解体されました。

市では、親子2代で長年にわたり管理運営を行ってきた星俊之さん(金井1丁目)に感謝状を贈呈しました。星さんは「やすらぎ荘の管理運営で、たくさんの人と関わることができてとてもいい経験となった」と話していました。



昨年9月に解体されたやすらぎ荘

編集後記



○あけましておめでとございませう！2020年、ネズミ年がスタートしました。今年もみなさんに明るく楽しい話題をたくさんお届けできればと思いますので、「広報なすからすやま」をどうぞよろしく願います。

○と言いつつも、締め切りが1週間早いため、編集後記を書いているのは年の暮れ。2019年を振り返りつつも2020年の目標を頭を悩ませる日々です。

○2019年は、「平成」から「令和」に変わったり、消費税が8%から10%になったり、台風19号による災害が起きたりと、激動の1年間でした。また、8月号のオールカラーは私自身初めてだったので、うまく写真が撮れるか、どうバランスをとるかなど、不安を感じつつも、構成を考え、編集を進めるのが楽しく、とてもいい経験ができました。2020年はもっとスキルアップできるような頑張ります！

○お正月と言えばお餅。お雑煮もいいのですが、ラーメンに入れるのが一押しです。正月太りまっしぐらな組み合わせですが、お餅がトトロ口で本当においしいんです。みなさんもぜひ！そして、2020年最初の目標を「正月太り解消！」にしましょう(笑)



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2019.12.1現在
 ()対前月比

人口 25,082(-42)

男 12,462 女 12,620
 出生 7 死亡 38
 転入 45 転出 56

世帯数 9,335

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『災害から命を守る「逃げ地図」づくり』
 逃げ地図づくりプロジェクトチーム
 『勉強が死ぬほど面白くなる独学の教科書』 中田 敦彦
 『悪の脳科学』 中野 信子
 『「奴隷」になった犬、そして猫』 太田 匡彦
 『あたしたち、海へ』 井上 荒野
 『わが殿』 畠中 恵
 『別れの季節』 諸田 玲子
 『後家殺し』 山本 一力
 『食虫植物のわな』 木谷 美咲
 『田んぼの1年』 瀬長 剛
 『国語力をきたえるカタカナ語』 藤子 F 不二雄
 『おふとんかけたら』 かがくい ひろし

『たまたまたまご』 内田 麟太郎
 『せかいのくにでおめでとう!』 野村 たかあき
 『おしょうがつのかみさま』 おくはら ゆめ
 ★CD★
 『Traveler』 Official髭男dism
 『見つけ』 スピッツ
 『COMINATCHA!!』 WANIMA
 『METAL GALAXY』 BABYMETAL
 『マダムX』 マドンナ
 『ハリウッズ・ブリーディング』 ポストマローン
 『ディズニー・オン・キャトルマン』 レ・フレル

★児童図書★

文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

駅員の合図ぴりりと冬たてり

橋本由紀子(南)

二年越断捨離できぬ数へ日や

大森フサオ(宇井)

青天やほのかに香る福寿草

塩坂美枝子(南大和久)

台風禍更地となりし友の家

柳 つしま(中央)

川柳

篠崎 酔月 選

うららかに孫と離れず手をつなぎ

石原 紀男(中央)

しょっぱいの甘いの下戸のお菓子好き

石川由美子(興野)

給水車他県ナンバー有り難い

荻野目香津(中央)

孫受験神に仏に祈るのみ

早津 悦子(野上)

短歌

滝口 節子 選

嶺の木々を影絵のように映し出す茜の空の美しき

吉澤 紅月(南)

吾が里 寒空の中蠟梅の裸木に数えきれない答が並ぶ

須田 孝子(城東)

今だなお元気印のかしましき友の訃報を受けとめ

川俣登志子(旭)

きれず 坪庭に萩や秋桜、藤袴支え合いつつ風に耐えをり

高野 久子(大桶)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

受賞

おめでとうございます

●令和元年度よい歯のコンクール
 第42回栃木県歯科保健賞表彰(11月14日)
 (栃木県歯科医師会館)

『よい歯のコンクール』

『三歳児の部』▽優良賞・平野陽大

『図画ポスターコンクール』

『小学校の部』▽入選・岡ティアナ京

(江川小2年) 『中学校の部』▽入選・佐藤未来(烏山中2年)

『作文コンクール』

『小学校の部』▽入選・大野桃心(七合小3年)

『中学校の部』▽入選・吉川和杜(烏山中3年)

『標語コンクール』

『小学校の部』▽入選・石井陽莉(境小2年)

『中学校の部』▽入選・石井陽莉(境小2年)

●山あけ俳句全国大会

『小学生の部』金賞・海川陽叶(荒川小2年)

『中学生の部』金賞・高橋依吹(七合小6年)

『小学生の部』金賞・高橋依吹(七合小6年)

『中学生の部』金賞・高橋依吹(七合小6年)

市長賞・五十嵐未来(烏山中1年)▽

那須烏山市教育長賞・黒木ゆら(烏山中2年)

▽大会実行委員長賞 平野真広(南那須中1年)

おわびと訂正

12月号18ページで、「坂間睦子様」とあるのは「坂間睦子様」(「板山建設」とあるのは、正しくは「有板橋建設」です。おわびし訂正いたします。

シリーズ 烏山高校ってこんなところ! ~「烏山学」編~

烏山城と近代化遺産

10月30日(水)、31日(木)に1年生を対象とした「烏山学」が行われました。本市の抱える課題や魅力について知り、高校生の立場からどのようにすると解決できるかを考えることを目標に、14のプログラムに分かれてフィールドワークを行いました。その中でも今回は市内の史跡を巡り、魅力を再発見するプログラム「烏山城と近代化遺産」を紹介します。



生徒のコメント

1年 小滝奏汰さん(野上)

以前から歴史や近代化遺産に興味があり、烏山学で学んでみたいと思い、このプログラムを選択しました。新しい建築物に建て替える際に、昔の貴重な建築物まで壊してしまっているという話を聞きました。実際に近代化遺産を見て、昔の人の知恵の凄さを感じましたが、ほとんどの人に知られることなく取り壊されてしまっているのがもったいないと感じました。近代化遺産を活用したイベントなどを開催することで多くの人に、魅力に気づいてもらえると考えました。

生徒のコメント

1年 玉造佑宇太さん(那珂川町)

中学生の頃から歴史や文化に興味をもっており、このプログラムを選択しました。市内にたくさんの近代化遺産があったことを知り、その中でも特に、旧烏山駅舎の構造の話が印象に残っています。現在では、当時使われていた信号しか残っておらず、特徴的な構造を実際に見ることができないのを寂しく感じました。どうくつ酒蔵のように形を変えて現在でも活用されている近代化遺産もあることを知り、近代化遺産を活用する方法について考えていきたいと思いました。



明治末期に高知県から流し漉きの技法が導入され、昭和期には生産能率や価格の点から程村紙を漉く家はほとんどなくなり

「和紙の里」の一工場のみで上質な和紙を漉く技術が永く継承されています。

上質な烏山和紙を生み出す
市内唯一の製紙所「和紙の里」

那須烏山ジオパーク構想だより ③

〜見どころ紹介〜

ましたが、現在は特注の免状や版画など、特別な紙として美しい仕上がりを求めるものに使われています。昭和52年に国選択無形文化財に選ばれ、明治・大正期には国政選挙の投票用紙にも使用されました。

そんな栃木県の伝統工芸品として有名な程村紙ですが、豊かな自然と清らかな水に育まれたものであり、ジオとも深い関わりがあります。大地の上で営まれた貴重な文化財でもあり、ジオサイトとしての活用が期待されています。

